

## ～ 林 修 先 生 の 教 え ～

(第76号) 令和5年11月24日

「いつやるか? いまでしょ!」で2013年 流行語大賞を受賞した林修先生のご講演を聴くチャンスに恵まれました。

10年前に『今やる人になる40の習慣』という先生の本を読んでいた。その本の中ではこう言っています。

「将棋の羽生善治氏をはじめ多くの人が尊敬する桜井章一氏は『平常心』を失うと『運』をもっていかれる」と述べていますが、その通りです。せっかくつかんだ運を、手から水がこぼれるように失ってしまうのは、油断であり慢心のゆえです。絶対に浮かれてはならないのです。」



転じて「歴史を通して自分を知る」という今回の演題の中で、歴史的に見て、勝者の共通点はみつけにくいですが、敗者には3つの共通点があると話されました。

その1：情報不足 その2：慢心 その3：思い込み

ここでも慢心が出てきました。

以前の私は、調子に乗るタイプでした。校長時代、不調でも好調(校長)などと慢心していました。林先生は、ご自身の体験からこの慢心になってはいけな自身に言い聞かせて現在に繋がっている旨のお話をなさっていました。

この敗者の3つの共通点はぜひ記憶しようとその場で覚えました。それは「お・ま・じ・ない」1, 2, 3を逆から

「お」思い込み 「ま」慢心 「じ」情報不足 それらが無い。

林先生にお伝えしたいです。

講演終了後の質疑応答ではかなりの挙手があり、先生への興味・関心の度合いが分かる内容でした。中でも私が感心した生徒の質問は2つです。

質問：「林先生、僕は高3で受験を控えています。いつから勉強始めたほうがいいですか？」

質問：「林先生、英語のリビングは日本語では何と言いますか？」

さすがに、林先生も応答には照れ笑いでした。どちらの回答も「いまでしょ」前述の著書にある林先生の言葉です。

「人をアイして、ウンを逃がさず、エンを尊び、オンを忘れず」

私の生き方の目指すところです。